



自衛隊栃木地方協力本部

北宇都宮駐屯地開設52周年記念行事で広報展！ ～空自だけじゃない！陸自航空機の魅力をPR～



地本ブースの前は航空ショーの
絶好のポイント



栃木地本キャラクター
「りく」は大人気！



展示されていた飛行機が着隊する
様子を見送る来場者



制服試着を楽しむ来場者

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は5月24日（土）、北宇都宮駐屯地で実施された開設52周年記念行事において広報展を実施した。当日は曇り空の過ごしやすい気候の中、飛行展示や体験搭乗などが行われ、航空ファンをはじめ多くの来場者で賑わった。広報展では制服試着、F-4スロトル＆操縦桿体験、缶バッジ作成及び自衛隊説明コーナーなどを設け、記念撮影をする親子連れなどで賑わっていた。特に、缶バッジ作成には長い行列ができ、大盛況となっていた。写真を撮っていた来場者からは、「自衛隊のヘリコプターがとてまかつこよかったです」「パイロットにはどうしたらなれますか？」などの声が聞かれた。また、自衛隊説明コーナーでは、説明を聞きに来る来場者が絶えることなく続くなど、自衛隊に興味を持っている来場者が多い駐屯地記念行事で、募集広報に絶大な効果を発揮していた。訪れた学生からは「パイロットに憧れています。パイロットから詳しい話を聞くことができ、本格的に自分の行く道が見えてきてとても有意義な1日となりました」という声も聞かれ、自衛隊について理解を深めてもらう効果的な広報展となった。

栃木地本は「今後も、駐屯地と連携を密にし、地域の皆様に自衛隊を身近に感じていただけるよう活動していくとともに自衛隊への理解の促進及び募集活動に邁進していく」としている。



缶バッジ作成の様子



F-4スロトル＆操縦桿体験の様子



制服試着を楽しむ来場者



階級章の展示の様子



パイロット希望者へ現役パイロットから説明している様子



来場者が絶えない自衛隊説明コーナー